

[概略版] プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言(通称: 浜松宣言)

～ 地球まるごと健康を目指す これからのプライマリ・ケア ～

2024年6月9日 日本プライマリ・ケア連合学会 理事長

気候変動は、私たちの健康を脅かす最大の課題です。猛暑や干ばつ、豪雨などの異常気象をもたらし、人々の健康や生活の質に広範かつ深刻な影響を及ぼしています。

特に日本においては重大かつ緊急な影響として、1自然災害による人的被害、2暑熱による熱中症患者の発生・超過死亡、3節足動物媒介感染症の流行、4脆弱性が高い集団への影響(高齢者・小児・基礎疾患有病者等)が想定されています。

他方で、気候変動に歯止めをかけるためにはヘルスケア領域の温室効果ガス削減も重要です。日本の温室効果ガス排出の約5%がヘルスケア領域に由来し、産業部門の第5位です。

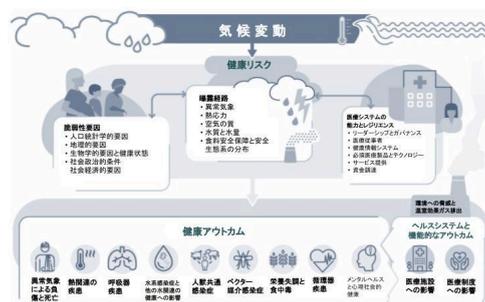


図1. 気候変動による健康への影響と、その環境・社会・公衆衛生の決定要因

(World Health Organization. Fact sheets_Climate change. Available from: <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/climate-change-and-health> を引用/翻訳)

私たち日本プライマリ・ケア連合学会は、ここに広く気候非常事態を宣言し、地球環境と人々の健康を守る「プラネタリーヘルス」に基づく、より持続可能なプライマリ・ケアを目指します

そのために、次の通り気候変動対策に取り組むことを約束します。

1) プラネタリーヘルスの理解を深め、医療者および市民へ周知します

プラネタリーヘルスとは、人類の健康と地球環境の持続可能性を両立させるための学際的な概念です。気候変動対策に留まらず広い視点で環境保全を推し進めるために、医療者や市民へプラネタリーヘルスを周知理解を促します。

2) 日本のカーボンニュートラル実現に貢献するため、温室効果ガス排出削減に取り組みます

ヘルスケア領域の省エネ・省資源、再生可能エネルギー利用など、温室効果ガス排出削減に取り組みます。また、地域住民が連帯して、他の産業や家庭から排出される温室効果ガスの効果的な削減に働きかけます。

3) 気候変動の影響に適応したプライマリ・ヘルス・ケアの整備に取り組みます

暑熱対策、感染症対策など、気候変動の影響による健康被害を防ぐ体制を強化します。

4) プラネタリーヘルスに関する医学教育および研究、関係組織との連携を推進します

「気候変動と医療」に関する医療従事者の知識向上と研究を支援します。また、気候変動に強く持続可能な医療保健システムの構築を目指して、関係組織との連携を強化します。

これらの取り組みを通じて、健康で持続可能な社会の実現に貢献します。

★詳しい内容は、「プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言の解説」をご覧ください。